

平成29年11月13日

## 駅ホームからの転落防止に向けた鉄道事業者への支援について

埼玉県知事 上田 清司

駅ホームからの転落事故や列車との接触事故は各地で発生しており、本県でも、平成29年1月に京浜東北線蕨駅において、盲導犬を連れた視覚障害者が線路内に転落し、亡くなられるという大変痛ましい事故が発生した。

駅ホームからの転落事故防止は、鉄道事業者の大きな課題となっている。

こうした中、九都県市首脳会議では、平成29年5月の第71回会議における千葉県からの提案により、国に対してホームドアに係る研究開発等に対する支援や鉄道事業者の負担軽減のための支援の拡充を要望したところである。

本来、鉄道の安全確保は鉄道事業者の責務であるが、ホームドアの整備は鉄道事業者のみならず地域の課題でもあることから、国が設置した「駅ホームにおける安全性向上のための検討会」の中間とりまとめ（平成28年12月）において、国、自治体の支援のもと取組を進めていくものとしている。

これらを踏まえ、国や自治体は鉄道事業者の取組に対し、補助を実施している。

しかしながら、自治体は厳しい財政状況のもとで鉄道事業者の取組を支援していかなければならず、支援のための財源確保が課題である。

また、視覚障害者への声かけや見守りなどのソフト対策を浸透させるには、鉄道事業者と自治体が連携して、広く啓発を行うことが重要となる。

視覚障害者へのアンケート調査によれば、効果的と考える転落防止対策は「ホームドアの設置」が92.8%と最も多く、次いで「第三者の声かけ」が76.6%となっている。

こうした住民の声に応えるため、九都県市として鉄道事業者を支援し、ハード、ソフト両面からの対策を促進していくべきと考える。

### （提案）

駅ホームからの転落防止に向けた鉄道事業者の対策を支援するため、九都県市が共同して以下の事項に取り組むことを提案する。

### （検討内容の例）

ハード対策を支援するため、自治体の財源確保を図る方策を検討

視覚障害者への声かけや見守りなどのソフト対策の浸透を図るため、鉄道事業者と連携した啓発を実施

# 駅ホームからの転落防止に向けた鉄道事業者への支援について

埼玉県参考資料

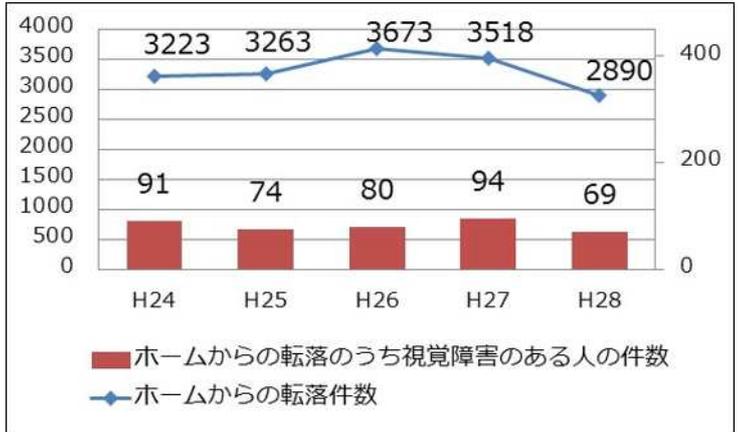
## 1 現状と課題

### 駅ホームにおける事故件数（全国）

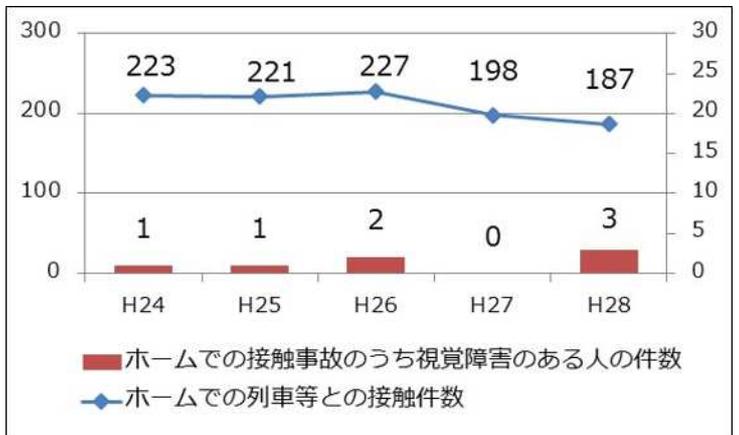
- ・平成28年度のホームからの転落件数は2,890件であり、このうち視覚障害者の転落は69件(2.4%)
- ・また、接触（人身）事故件数は187件であり、このうち視覚障害者の事故は3件(1.6%)

（首都圏での主な視覚障害者の接触事故）  
 平成28年8月 銀座線青山一丁目駅  
 平成29年1月 京浜東北線蕨駅

駅ホームからの転落件数（全国）



駅ホームでの接触（人身）事故件数（全国）



出典：第7回駅ホームにおける安全性向上のための検討会（国交省資料）

### ホームドア整備状況

九都県市の10万人以上の駅におけるホームドア整備状況（平成28年度末）

66駅 / 208駅（整備率31.7%）

### ホームドア整備における課題

#### 技術面

車両の扉位置が異なる場合への対応等が困難

→ 研究開発等への支援拡充を九都県市として国に要望（平成29年6月）

#### コスト面

整備費用が多額

→ 国の補助

→ 鉄道事業者の負担軽減のための支援拡充を九都県市として国に要望（平成29年6月）

→ 自治体の補助

→ 自治体の財源確保が鍵となる

### 鉄道事業者のソフト対策

「声かけ・サポート」運動の実施（首都圏の鉄道事業者が連携）

- ・駅構内等へのポスター掲出
- ・車内ディスプレイ等への広告放送
- ・強化キャンペーン（H29.9.19～11.19）

### Q：転落を防ぐため効果的だと思う対策は？

回答	比率（%）
ホームドアの設置	92.8%
第三者の声掛けの普及	76.6%
駅員の増員配置	72.5%
内方線付き点状ブロックの敷設	66.7%
自身の注意力を高める	63.5%
その他	17.6%

「視覚障害者の鉄道駅に関するアンケート調査 調査結果」（毎日新聞・日本盲人会連合）を基に埼玉県作成

## 2 共同取組の提案

駅ホームからの転落防止に向けた鉄道事業者の対策を支援するため、検討会を設置し、九都県市で共同して取り組む

### 【検討内容の例】

ハード対策を支援するため、自治体の財源の確保を図る方策を検討

(埼玉県の取組)

バリアフリー法の起債に関する要件の緩和について国に要望  
バリアフリー基本構想の策定等により起債が可能

視覚障害者への声かけや見守りなどのソフト対策の浸透を図るため、  
鉄道事業者と連携した啓発を実施

(埼玉県の取組)

声かけ・サポートハンドブックの作成（平成27年度～）

- ・ 駅ホームでの視覚障害者に対する声かけ方法等を示したハンドブックを市町村や鉄道事業者などに配布

配布実績 1万2千冊

駅ホーム声かけサポート講習会の開催（平成29年度～）

- ・ 上記ハンドブックを活用し、声かけを積極的に行っていただける方を増やすため、市町村及び鉄道事業者と連携して講習会を開催

開催実績 5会場



声かけサポート・ハンドブック



蕨市駅ホーム  
声かけサポート講習会



川口市駅ホーム  
声かけサポート講習会